

琉球大学と米国・東西センターが リエゾンオフィス覚書を締結

平成28年10月17日、琉球大学と東西センター(米国ハワイ州)とのリエゾンオフィス相互設置に関する覚書の調印式が執り行われました。本学にとって、米国における初の海外拠点の設置となりました。

本学と東西センターとは、これまで様々な分野において学術交流を推進しており、特に、小渕国際交流基金フェロースhipや小渕東西センター奨学金制度により多くの本学教員、大学院生、卒業生が東西センターにおいて研究や勉学に取り組んできました。

このたび、本学と東西センターとの相互協力・学術連携の推進、またハワイと沖縄の大学や関係機関との学術交流の促進を目的として、両機関相互にリエゾンオフィスを設置することとなりました。

覚書調印式には、東西センターよりモリソン総長、ロバート・ナカソネ氏、またハワイ東西センター沖縄同窓会より高山朝光氏、山里恵子氏が出席しました。

調印式では、大城学長より、ハワイと沖縄はこれまでも東西センターやハワイ大学等と幅広い学術交流を行ってきており、リエゾンオフィスの相互設置により、今後ますます活発な学術連携が展開され、ハワイと沖縄の教育・研究の発展に寄与することが期待されるとの挨拶があり、続いて、モリソン東西センター総長より、両機関の窓口となるリエゾンオフィスを通して、更にハワイと沖縄のコミュニティの交流や連携を深め、継続的な発展につながることを期待しているとの挨拶がありました。

また、大城学長とモリソン東西センター長は、沖縄県庁を表敬訪問し、浦崎副知事に両機関のリエゾンオフィス覚書の締結についての報告や沖縄県とハワイとの今後の学術交流や人材育成についての懇談を行いました。



モリソン東西センター総長・大城学長



挨拶するモリソン総長



記念撮影



浦崎沖縄県副知事表敬訪問